

4年生 キャップハンディ体験



11月21日、総合的な学習の時間に、白杖体験と高齢者疑似体験を行いました。

子どもたちは、視覚に障がいがある方の不便さや恐怖心を体験し、その方が困っている場面でどのような声かけや誘導をしたらよいのかを学びました。また、高齢者疑似体験では、疑似体験装具を装着して日常生活動作を行い、加齢による身体的変化や高齢者の気持ちに触れました。

今後の生活において、バリアフリーの視点で考え行動できる子どもたちになっていくことを願っています。